

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		都市計画事務費[都市計画図の販売事務]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	3			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	都市づくり（都市計画） 課			都市計画 係			課長名	稲毛 秀憲			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1			
【施策名】 市街地の整備							総合計画書 (ページ)	83			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民、事業者			購入希望部数							
	→										
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	都市計画に関する情報提供を円滑に行う。			購入希望部数に対する販売部数の割合							
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	都市計画図を作成し、都市計画課で販売する。			販売部数							
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	部	37	40	38					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方 印刷枚数と印刷頻度を踏まえ、計画的な配布枚数を設定する。											
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	0	0	0					
	特定財源(国・都・他)		円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	所要人数(再任用以外)		時間	4.0	4.0	4.0					
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	17,200	17,200	16,800					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	17,200	17,200	16,800						
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和43年度									
	(2) 環境の変化	ここ数年、同程度の販売部数となっている。									

